

平成 30 年度 第 1 回国営事業評価技術検討会

日時：平成 30 年 5 月 7 日（月）13:30～14:00

場所：札幌エルプラザ 2 階環境研究室

1. 開 会 (事務局)

ただいまから、平成 30 年度第 1 回国営事業評価技術検討会を開会いたします。

本日は、お忙しい中、委員の皆様におかれましては、御出席頂きまして誠にありがとうございます。

私は、北海道開発局農業整備課の館石でございます。委員長選出までの間、委員会の進行を務めますので、どうぞよろしくお願ひします。

それでは、開催に当たりまして、圓山農業水産部長から御挨拶を申し上げます。

2. 農業水産部長挨拶

北海道開発局農業水産部長の圓山でございます。

本日は平成 30 年度第 1 回国営事業評価技術検討会に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。

日頃から北海道開発行政全体につきまして、色々な立場からご支援、ご協力を賜っており、この場をお借りし、お礼申し上げます。

事前にご説明させていただいているところですが、今年度の事業評価につきましては、先生方に非常にご負担をお掛けする地区数となっております。そこはお詫び申し上げたいところですが、まずは期中の評価でございますけれども、事業採択後 10 年経過地区が対象となっており、今年度は妹背牛と富良野盆地の 2 地区が対象となっております。次に事業完了後の評価、事後評価につきましては、完了公告から 5 年を経過した地区が対象であり、はまなか、生田原、幌進、岐阜、下浦幌、稚内中部の 6 地区となっております。合計 8 地区となりましてスケジュールもタイトとなっている中で、現地調査、ご審議をお願いすることになりますけれども、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

また、今年のご承知のとおりでございますけれども、北海道命名 150 年目の節目の年でございます。北海道のこの地がありますのも、150 年の歴史の中で排水や開墾でありましたり、用水整備でありましたりと土地改良事業を通じた農業、農村の基盤作りが大きな役割を果たしてきたものと思っております。

こういった積み重ねの努力を次世代にきちんと繋げていくことが、今私達に課せ

られた大きな仕事だと思っております。

そのためには、期中評価や事後評価をしっかりといたしまして、また、色々な立場からのご意見を受け賜りまして、次の事業に活かしていくことが大事であると思っております。

そういった点で色々なご意見、ご示唆を賜りますことをお願い申し上げまして、簡単ではございますけれども、ご挨拶に代えさせていただきます。

どうぞよろしく願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

3. 委員紹介

(事務局)

それでは本日は第1回目ですので、議事に先立ちまして、当技術検討会の委員に御就任いただいております先生方を御紹介します。

五十音順です。

岡村 俊邦（おかむら としくに）委員です。

紺野 裕乃（こんの ひろの）委員です。

長澤 徹明（ながさわ てつあき）委員です。

中原 准一（なかはら じゅんいち）委員です。

波多野 隆介（はたの りゅうすけ）委員です。

森 久美子（もり くみこ）委員です。

続きまして北海道開発局の出席者を紹介します。

先ほど挨拶をいたしましたが、

圓山農業水産部長です。

参鍋調整官です。

北田農業計画課長です。

都築農業調査課長です。

草薙農業設計課長です。

畔津農業振興課長です。

三野事業調査官です。

伊藤農業企画官です。
高野農業施設管理官です。
白井土地改良管理室長です。
青山農業振興対策官です。
高久事業計画推進官です。
最後に、農業整備課長の舘石でございます。

4. 委員長選任

(事務局)

続きまして、議事次第の4、委員長の選任に移ります。

配布資料2の10ページに国営事業評価技術検討会設置要領がございますが、第3条第2項により、「委員長は委員による互選とする」となっておりますので、よろしく願いいたします。

(中原委員)

長澤徹明委員にお願いしたいと思います。

(各委員)

異議なし。

(事務局)

それでは皆様方御異議がないようでございますので、長澤委員を委員長といたします。これ以降の検討会の進行につきましては、長澤委員長にお願いしたいと存じますので、よろしく願いいたします。

5. 審 議

(長澤委員長)

ただ今委員長に推挙されました長澤です。

簡単にご挨拶を申し上げます。

私を含めて委員の全員が昨年より継続しておりまして、この技術検討会の趣旨やその職務については、十分に承知しているところでございます。

改めて、言うまでもないことですがけれども、巨費を投入する、または投入した国営事業の内容やその効果を検証し、意見を事業管理委員会に答申するというのが最

終的な我々の役目になっております。

先月の末、4月23日付け朝日新聞でありましたけれども、公共事業評価の4分1に問題があると、かなり大きめの記事が出ておりました。内容的には言われるまでも無いことでありましたが、社会はそういったところに厳しい目を向けているということでもあります。我々一同、狎れることなく、かつ阿ることなく第三者の意見を答申に反映させていきたいと思っております。

これから2ヶ月ほど結構ハードなスケジュールでありますけれども、事務局の方々を含めまして、どうぞよろしくお願いいたします。

本日の審議につきまして、円滑に進めたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、さっそくお手元の議事次第に従って議事に入りたいと思っております。

最初に、技術検討会審議事項の(1)「委員会の運営について」、事務局より説明いたします。

(事務局)

資料2の事後評価関係要綱等の配付資料10ページ、国営事業評価技術検討会設置要領をお開き願います。本技術検討会の業務としましては、第2条に記載が有りますとおり、技術検討会の業務は、「北海道開発局国営事業管理委員会による再評価及び事後評価の結果に対し意見を答申するものとする」とございます。

その手順としては現地調査や関係市町村、土地改良区、受益者等と意見交換会を行い、第2回技術検討会での審議を通じて答申をいただくこととしております。

次に検討会の公開のあり方につきましては、毎年、第1回目の検討会で決定願っております。

参考に昨年度の技術検討会の公開要領について説明させていただきます。資料2の17ページをお開き願います。昨年度の技術検討会の公開要領ですが、検討会の透明性を確保する観点から、1に原則として一般に公開するとし、一般傍聴についても、2以下の公開要領に沿って傍聴していただくこととしております。

議事の公表につきましては、配布資料とともに議事概要を公表します。また、議事録は事務局で作成し、各委員に内容を確認頂いたうえで公表しています。なお、議事録は発言者名を記して公表しています。

また、来週以降順次行います現地調査につきましては、各委員が地区の最終的な評価に対し、意見を述べるための途中段階で行っている調査でございますので、意見交換につきましては非公開としておりますが、要請があれば実施日時、調査地区等を公表するとしております。

なお、現地での意見交換の概要につきましては、第2回の技術検討会までに整理し、公開いたします。

委員へのマスコミ等からの取材については、事務局が窓口として対応するという運営方法をとりたいと考えています。

(長澤委員長)

ありがとうございました。

事務局から説明がありましたが、あらためて要点を整理しますと

- ・一般傍聴を認めており、公開要領に沿って傍聴していただくこと。
- ・技術検討会の議事録については発言者名を記して公表すること。
- ・現地調査につきましては、各委員が地区の最終的な評価に対し、意見を述べるための途中段階で行っている調査であり、意見交換については非公開とすること、要請があれば実施日時、調査地区等を公表すること。
- ・現地での意見交換の概要については、第2回の技術検討会において概要を公開すること。
- ・委員へのマスコミ等の取材については、委員が個別に対応しない、ということ。

になります。委員の皆様はこの運営方法についていかがでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(長澤委員長)

それでは、本年度はただいま確認しました内容で運営させていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(長澤委員長)

ありがとうございました。

なお、評価の意見を取りまとめていく段階で、運営方針に変化が生じた場合には、委員にて協議し対応していきたいと思います。

続いて、委員会審議事項の(2)「平成30年度再評価・事後評価地区について」事務局から説明願います。

(事務局)

再評価地区の説明をさせていただきます。

資料3を御覧ください。表紙を1枚めくると期中の評価となっており、再評価の一覧となっております。

国営農地再編整備事業で2地区ございまして、妹背牛地区と富良野盆地地区になります。

妹背牛地区につきましては、関係市町村は妹背牛町、採択年度は平成20年度、受益面積1,002ha、採択時の総事業費は170億円、主要工事計画は、区画整理997ha、農地造成5ha、排水路2.2km、支線道路2.5kmでございます。

続きまして、2地区目の富良野盆地地区については、関係市町村は富良野市、中富良野町、採択年度は平成20年度、受益面積2,217ha、採択時の総事業費は320億円、主要工事計画が区画整理1,943ha、農地造成274ha、用水路0.8km、排水路3.1km、幹線道路2.8kmでございます。

以上の2地区でございます。

続きまして、事後評価地区の説明させていただきます。

事後評価地区につきましては、全部で6地区ございます。

そのうち3地区が、国営かんがい排水事業でございます。

1地区目は、はまなか地区で、関係市町村は浜中町、事業期間は平成13年度から平成23年度、受益面積は13,065ha、事業費は334億3,500万円、主要工事は揚水機2箇所、用水路168.2km、排水路48.3kmでございます。

2地区目は生田原地区で、関係市町村は遠軽町、事業期間は平成8年度から平成23年度、受益面積は1,060ha、事業費は82億8,000万円、主要工事は貯水池1箇所、用水路29.7kmでございます。

3地区目は幌進地区で、関係市町村は幌延町、事業期間は平成10年度から平成23年度、受益面積は1,653ha、事業費は104億円、主要工事は貯水池1箇所、用水路43.1kmでございます。

次に直轄明渠排水事業でございます。岐阜地区となりまして、関係市町村は北見市、事業期間は平成18年度から平成23年度、受益面積2,271ha、事業費は49億6700万円、主要工事は排水機1箇所、排水路2.4kmでございます。

続きまして、国営総合農地防災事業でございます。2地区ございまして、1地区目が下浦幌地区です。関係市町村は浦幌町、豊頃町、事業期間は平成11年度から平成23年度、受益面積3,830ha、事業費228億9,500万円、主要工事は排水機2箇所、排水路32.0km、農道8.7km、暗渠排水2,140ha、不陸整正320ha、障害物除去210ha、置土780haでございます。

最後に、稚内中部地区でございます。関係市町村は稚内市、事業期間は平成 17 年度から平成 23 年度、受益面積 863ha、事業費 45 億 5900 万円、主要工事は排水路 5.4 km、暗渠排水 837ha、不陸整正 231ha、障害物除去 106ha、置土 61ha の以上でございます。

(長澤委員長)

ありがとうございました。

ただいま再評価と事後評価地区につきまして説明を受けましたが、御質問・御意見ございますか。

(各委員)

ありません。

(長澤委員長)

再評価については、事業採択後 10 年経過した時点で、事後評価については、地区完了後 5 年でそれぞれ行うこととなっておりますが、今回対象となる評価地区のも同様でよろしいのでしょうか。

(事務局)

はい。再評価につきましては、地区採択後 10 年を経過した時点で再評価を行い、事後評価については、地区の完了公告後 5 年となっております。

(長澤委員長)

続いて、委員会審議事項の(3)「平成 30 年度スケジュールについて」事務局から説明願います。

(事務局)

資料 4「平成 30 年度国営事業評価技術検討会審議スケジュール(案)」の説明をいたします。本日 5 月 7 日、第 1 回の事業評価技術検討会を開催させていただいております。続きまして 7 月中旬に第 2 回事業評価技術検討会を開催する予定でございます。そこで評価結果の諮問を行う予定でございます。その後同じく 7 月中旬に事業評価結果の答申を行う予定で考えております。その後 8 月下旬に、評価結果の公表を行いたいと思っております。

公表の時期は、資料 2 の P2 にございます国営土地改良事業等再評価実施要領第 7、同じく資料 2 の P5 にございます国営土地改良事業等事後評価実施要領第 5 に基

づき、8月末までに公表することが定められていますので、それに沿って技術検討会のご審議を進めてまいりたいと思います。よろしくお願い致します。

(長澤委員長)

ありがとうございました。

ただいまのスケジュール案について、御質問・御意見はありますでしょうか。

(各委員)

ありません。

(長澤委員長)

他に質問はございますか。

(各委員)

ありません。

(長澤委員長)

それでは、本日の議事案件については、これで終了となります。

ありがとうございました。

なお、本日の議事概要の内容確認につきましては、私にお任せいただきたいと存じますが、いかがでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(長澤委員長)

ありがとうございました。

(長澤委員長)

では、本日の検討会の具体的な公表について、事務局から説明願います。

(事務局)

本日の議事概要については、委員長に内容を御確認いただいた上で、配布資料とともに公表する予定でございます。また、議事録に関しては、各委員に内容をご確認いただいた上で公表したいと思っております。

(長澤委員長)

ありがとうございました。

議事進行へのご協力、ありがとうございました。

これで、第1回検討会の審議は終了いたします。

6. 閉 会

(事務局)

ありがとうございました。

以上をもちまして、第1回検討会を終了いたします。

(以上)